

■イタリア：Enel、2018年は再エネが21%の伸び

2019年3月8日付エネルギー情報サイトは、イタリアの大手電力事業者のEnelが公表した2018年の経営実績について伝えた。これによると子会社を含めたグループ全体の発電量は2,500億kWhで、前年より0.2%伸びた。内訳を見ると火力発電と原子力発電の合計は1,510億kWhで前年より10%減少したが、再生可能エネルギーは21%伸び、990億kWhを記録した。特に風力発電の増加が顕著で24%増加し、220億kWhとなった。発電設備容量の合計は8,562万kWで、2018年に新規で設置された設備容量(268万2,000kW)はすべてが再生可能エネルギーと水力で占められ、うち風力発電が140万kW、太陽光発電が120万kWであった。発電設備の地理的な分布は、イタリア(2,760万kW)が最も多く、スペインとポルトガル(合計2,270万kW)、南アメリカ(2,100万kW)、その他欧州および北アフリカ(980万kW)と続く。